

事業団  
だより

# Harmony

2025.7

VOL. 70

Harmony

## 縁結び

福岡県の名勝として「日本の渚百選」に選ばれる桜井二見ヶ浦です。  
「夫婦岩(めおといわ)」は、夫婦が仲良く並んでいるように見えるため、縁結びや夫婦円満のシンボルとして知られています。



Instagramもやっています！  
是非チェックしてみてください！

社会福祉法人  
山梨県社会福祉事業団

撮影者：「きぼうの家」 支援員 五味拓也

## きぼうの家

### 春祭り

今年の春祭りは天候に恵まれ、テントを出す程の暑さの中での開催となりました。久しぶりのご家族を呼んだイベントとなり皆様とても楽しそうにされていました。

アトラクションでは「印の里 六郷太鼓 響」さんを招待し、いくつもの楽曲を目の前で披露していただきました。大きな太鼓の音が響き渡る圧巻のステージに目が離せませんでした。最後には利用者の皆様も太鼓の体験をさせてもらい、レクチャーを受けながら太鼓の音を響かせていました。



## もえぎ寮

### 移転改築工事が始まりました。

新もえぎ寮の工事がいよいよ始まりました。

完成までの道のりを記録に残そうと、ドライブがてら利用者様を現地に連れて行き、記念撮影を行っています。来年の完成まで続けていく予定です。

また昭和63年から生活してきた現施設を形に残そうと「巨大貼り絵」を利用者様・ボランティア様で制作を始めました。10月のもえぎ祭りで披露すると共に新施設へ飾る予定です。いよいよ引っ越しが近づいていると感じる毎日です。



## 施設行事 report

## 豊寿荘

### 梅ジュース作り

豊寿荘では6月4日に梅ジュース作りを行いました。個々で梅に菜箸を刺してから氷砂糖と一緒に容器に入れていました。

作業の間、皆様真剣に行っていました。しばらくの間保存し、時間を掛けて完成させてから、ジュースとして飲む予定です。



## 明生学園

### BBQ

ゴールデンウィークに学園でBBQを行いました。児童からリクエストがあったものや、好きなものを準備する事ができ、喜んでくれました！食後には暑

かった事もあり、水遊び！全身びちゃびちゃになりながら楽しく遊んでいました (ハ▽ハ)



## I 総括

### 1 利用者本位

#### (1) 各施設の特性に応じた利用者支援

高齢者、障害者、児童の多様なニーズに対応するため、施設ごとの特性に応じた利用者支援に努め、利用者一人ひとりのQOLの向上に努めた。

#### (2) 自己評価と顧客満足度調査を活用したサービスの向上

利用者のニーズを的確に把握し、利用者の視点に立った質の高いサービスを提供するため、各施設において、サービスの「自己評価」と利用者に対する「顧客満足度調査」を実施し、サービス向上に取り組んだ。

#### (3) コンプライアンスとリスクマネジメントの徹底

「コンプライアンス行動規範」及び「コンプライアンス行動基準」により、利用者のより一層の権利擁護を図り、利用者志向の職務遂行と良質かつ適切なサービスの提供に努めた。

また、リスクマネジメントを徹底することにより、介護事故と施設内虐待の未然防止に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症については、感染症用の事業継続計画（BCP）を改定して、日々の衛生管理体制を強化し、事業団内での感染拡大防止のための情報共有に努めた。

#### (4) 職員提案による介護・支援の改善と活力ある職場の創造

職員自らの業務改善提案を通じて施設運営への参加意識を醸成し、組織の活性化を図るため、職員提案・職員表彰制度を実施し、令和6年度は44件の提案に対し41件を採択し、利用者へのサービス向上やリスク管理、業務の効率化等に効果を上げた。

#### (5) 相談解決体制の充実

介護や支援に対する相談、苦情又は要望への相談体制と第三者による相談対応窓口について、利用者や家族に周知するとともに、職場におけるハラスメント防止に関する細則や相談対応マニュアル等に基づき、職員からの相談や苦情に迅速かつ適切に対応した。

#### (6) 職員研修の充実

職員の意識と介護技術や専門性の向上を図るため、感染防止に配慮する中で、対面型研修を実施するとともに、Webを活用したオンライン研修を併用実施して、人材育成によるサービスの質の向上を図った。

### 2 健全経営

#### (1) 健全経営の推進

①「経営計画」に基づいて設定した目標利用率を達成できるように、市町村など関係機関と連携を密にして利用者確保及び入退所期間のタイムラグの短縮に努めた。

②消防設備保守点検業務、施設の火災保険等の一括入札を継続するとともに、給食消耗品、医療消耗品の一括発注などを実施し、経費削減に努めた。

③人件費の適正化等に向け、ベースアップ等支援加算など3つの加算が介護職員等処遇改善加算に一本化されることに伴い、職員給与のベースアップや介護職員等への処遇改善手当、処遇改善一時金の支給を行った。

④厳しい経営状況下にあるサテライト桃源荘については、経営コンサルタントによる改善に向けた現状分析を踏まえた経営改善計画を策定し、経営の健全化に向けた取り組みに着手した。

#### (2) 理事会等の開催

①理事会  
事業計画、収支予算等の決議、事業報告、計算書類等の承認等を行うため、書面開催を含め、年5回、理事会を開催した。

②評議員会  
事業計画、収支予算等の承認並びに事業報告及び計算書類等の承認等を行うため、年2回、評議員会を開催した。

③監事会  
業務の実施状況及び財務状況を監査するため、監事会を開催した。

#### (3) 法人の経営管理

①経営会議の開催  
毎月、定例的に、理事長、施設長等で構成する経営会議を開催し、経営に関する基本方針等の重要案件を協議するとともに、各施設の利用状況を検証し、対応策を検討した。

また、経営会議の下部組織として、事業団職員で構成する「サービス向上部会」、「研修部会」等を設置し、利用者サービスの向上対策、研修内容の改善、その他経営会議の業務に必要な事項について調査研究を行った。

#### ②人事労務管理

①大学や専門学校と連携して新卒者の確保に努めるとともに、実務経験を有する者についても積極的に雇用した。

特に、正規職員の採用に当たって、新規学卒者中心の年度採用については、通年募集により、採用試験を7月以降、毎月実施して、その都度、採用内定を出すこととし、令和7年度の採用予定者は、新規学卒者4名を含む11名を確保した。

更に、実務経験を有する者の中途採用については、紹介職員に報奨金を支給する職員紹介報奨制度により4名を採用するなど、正規・契約職員合わせて20名を確保した。

②全職員を対象に人事考課を実施し、職員の昇給（降給）、賞与等の適正に反映させることにより、職員処遇の公正化、職員の意識改革・能力開発及び組織運営の効率化を図った。

③全職員を対象にストレスチェックを行い、職員のストレスの程度を把握してメンタルヘルス不調を未然に防止し、働きやすい職場づくりを推進した。

④「コンプライアンス行動規範」、「コンプライアンス行動基準」

に基づいてコンプライアンスの徹底を図り、職員が働きやすい環境の整備等に取り組むとともに、チェックシートにより、職員各自がコンプライアンスを自覚し、実践してもらうことに努めた。

更に、職場におけるハラスメント防止の徹底を図るため、全職種を対象とした研修を開催した。

⑤「働き方改革」による年5日の年次有給休暇を確実に取得するため、定期的に経営会議で職員の有給休暇の取得状況を報告し、有給休暇取得を促した。

#### ③障害者雇用の推進

障害の有無に関わらず、誰もが活躍できる社会の実現のため、障害者の雇用に努め、令和6年度の実雇用率は、前年度を0.25%上回り、2.36%となったが、引き続き、法定雇用率をクリアできるように努力する。

#### ④広報活動の推進

事業団ホームページにより、各施設の事業内容や決算状況、求人情報等を発信するとともに、Instagramにより、採用情報だけでなく事業団の行事や研修等の多様な情報を掲載し、事業団の生の情報を積極的に発信することに努めた。

#### ⑤関係機関との連携推進

事業団の運営をより一層発展させるため、全国社会福祉事業団協議会、山梨県社会福祉法人経営者協議会等との連携を推進した。

#### (4) 施設・設備等の整備

「経営計画」に基づく整備を進めるとともに、県等の補助金を活用しながら必要な施設・設備等の整備を行った。

また、もえぎ寮の移転改築については、施設建設に向けた基本設計を行うとともに、地元住民への移転改築に係る説明会も実施して工事着工の目処を付けた。

#### ◎主な施設・設備等の整備

- ・豊寿荘／業務用ガス乾燥機の購入(990千円)  
冷暖房用室外機(GHP)の修理(5,810千円)
- ・明生学園／軽自動車の受贈(1,984千円)
- ・桃源荘／ユニット棟エアコンの修理(557千円)  
温冷カーットの修理(306千円)  
厨房シューズ殺菌庫の修理(100千円)  
介護用スタンディングリフト(2台)の購入(1,143千円)
- ・サテライト桃源荘／エコキュートの修理(985千円)  
トイレの修理(442千円)  
機械浴槽の修理(314千円)
- ・もえぎ寮／冷凍ストッカーの更新(307千円)  
居住棟トイレ給水管漏水の修繕(176千円)
- ・はまなし寮／居室ドアの設置(448千円)  
職員トイレのドア設置(157千円)  
厨房機器スチームコンベクションの修理(166千円)

#### ◎もえぎ寮移転改築関係

- ・建設用地の寄附受納／受納日:令和6年7月31日  
譲り受けた財産及び数量／土地:大月市猿橋町桂台三丁目36-1～8,37-1～6,37-22～26  
(19区画 公簿面積4,097.39㎡)
- ・もえぎ寮移転改築事業基本設計業務委託(総合評価一般競争入札)  
受託者／積水ハウス株式会社 山梨支店  
契約金額／18,700,000円(税込)  
契約日／令和6年11月22日  
変更契約日／令和7年2月17日  
契約期間／令和6年11月22日～令和7年3月17日
- ・もえぎ寮移転改築設計・施工段階発注者支援業務委託(随意契約)  
受託者／日本工営都市空間株式会社 山梨事務所  
契約金額／12,000,000円(税込)  
契約日／令和6年11月22日  
契約期間／令和6年11月22日～令和8年6月30日
- ・開発許可申請  
申請日／令和7年3月13日

#### (5) 人材の確保と福利厚生

##### ①人材確保・育成対策の推進

慢性的に人材が不足している状況において、質の高いサービスを提供し、将来の施設経営を担う優秀な介護・福祉人材等を確保するため、大学や専門学校に加え、高等学校を訪問するとともに、介護士・支援員及び介護支援専門員の採用要件の一部を緩和した。

また、新卒者がコミュニケーションを取りやすい若手職員で構成する人材確保部会を設置し、就職説明会や職員の母校訪問等のリクルート活動への参加、人材確保に必要な意見、アイデア等を出してもらう等の取組を行った。

更に、山梨日日新聞に求人広告を出すなど、多様なリクルート活動を積極的に実施した。

また、介護職員等処遇改善加算を活用して、平成17年度に法人を民営化して以降、初めてベースアップを実施するなど、職員の処遇改善を図るとともに、多様な職員研修を実施する中で人材の育成に努め、将来の事業団を担う職員を養成した。

更に、福祉人材育成への協力と人材確保のため、インターンシップや実習生の受け入れを行った。

また、人材確保の観点から、今後の外国人材の確保に向けた研究の一環として、関連企業にご協力いただく中で学習会を年2回開催するとともに、福祉専門学校主催の外国人介護人材育成事業説明会に参加するなど、受入れ制度について理解を深めた。

##### ②福利厚生事業の推進

職員相互の親睦と職場の活性化を図るため、レクリエーション事業等を実施した職員互助会に対し助成するとともに、職員の福利厚生充実のため、継続して、全事協年金共済事業及び福利厚生センター等に加入した。

また、職員の健康診断や35歳以上の職員を対象に人間ドック助成事業(5年に1回、3万円を限度:2名に助成)を実施した。

### 3 地域貢献

#### (1) 福祉の拠点施設としての機能発揮

新型コロナウイルス感染防止の観点から、各種行事や交流事業等の実施がままならない中でも、施設周辺地域の清掃活動への参加、インターンシップや実習生の受け入れ等を行うとともに、感染防止対策を行う中で、各種団体等に事業団(きぼうの家)研修室等を開放した。

また、著名な講師を招聘して複数回開催した介護職員ステップアップ研修については、法人職員以外の参加も認める開放型で行い、地域全体の介護職員のレベルアップを図った。

#### (2) 危機管理体制の整備推進

①大規模地震や豪雨災害、火災等を想定した避難・防災訓練を実施し、非常時における利用者の安全確保に万全を期すとともに、大規模災害発生時の事業継続に必要な災害用備蓄を進めた。

また、浸水によるデータ喪失に備え、継続してバックアップサーバーを設置した。

②毎年度、はまなし寮で実施している富士山噴火避難訓練は、施設車両の招集・乗車訓練を実施し、本部との避難連絡、避難準備品の確認等の訓練を実施した。

③事業団全体の新型コロナウイルス感染症対策を医療的な見地から指導、助言、相談を担う専門職員を設置し、施設のゾーニング、ガウンテクニック指導等を行うとともに、専門職員がクラスター等の発生した施設の状況を検証し、対策と課題について、経営会議で情報共有を図った。

更に、衛生管理・感染対策マニュアルの改正を行った。

④防犯・安全対策を推進するため、防犯カメラ等を引き続き活用した。

#### (3) 福祉避難所等

大規模災害の発生時に、地元市町の要請に応え、地域の高齢者や障害者など災害時要援護者を可能な限り受け入れる「福祉避難所」を設置することとしており、きぼうの家においては、洪水発生時等の地域住民の一時避難場所として、非常備蓄品の整備や駐車場の解放等の協力体制を継続して確保した。

## II 理事会・評議員会の開催、監査の実施等

(詳細な開催、実施状況は、事業団のホームページを参照してください。)

## III 法人の経営管理

### 1 経営会議の開催

経営に関する基本方針や予算編成方針の策定、職員採用計画、処遇改善策等の重要案件を協議するとともに、各施設の利用状況や半期ごとの収支状況によって事業団の経営状況を把握し、必要な対応策を検討した。

(経営会議の詳細な開催状況は、事業団のホームページを参照してください。)

### 2 危機管理対応会議の開催

#### (経営会議と同一メンバーで構成)

大規模地震や豪雨災害、富士山噴火等の大規模災害に備えた危機管理体制を整え、災害時等における諸課題を協議するため、危機管理対応会議を開催するとともに、昨年8月の南海トラフ地震臨時情報を踏まえ、改めて地震への備えを確認した。

(1) 令和6年6月19日(水)

・「はまなし寮における富士山噴火総合避難訓練」の実施について  
・事業継続計画、避難計画の時点修正等について

### 3 人事労務管理

(1) 職員の状況(R6年度)

- ①職員定数／322人(経営計画:常勤換算後)
- ②令和6年度当初職員数／296人(常勤換算後の実員310人)
- ③採用者数／41人(正規職員14人、契約職員27人)
- ④退職者数／35人(正規職員12人、契約職員23人)
- ⑤人事関係日程(詳細日程は、事業団のホームページを参照してください。)

(2) 職員の福利厚生【職員互助会の活動】

- ・職員相互の親睦と職場の活性化を図るため、グラウンドゴルフ大会を開催するとともに、昨年度に引き続き、「職員オンラインくじ引き大会」を開催した。
- ・職員の資質向上を図り、専門資格取得を奨励するため、資格を取得した職員に奨励金(160千円)を支給した。(介護福祉士3名、社会福祉士4名、介護支援専門員1名)
- ・臨時の支出や資金を必要とする職員に貸付を行った。(2件:450千円)
- ・結婚、出産、傷病等に対して給付事業を行った。

## IV その他

### 1 広報活動の推進

事業団のホームページに、基本理念や経営方針、事業報告・決算状況、各施設の事業内容や顧客満足度調査の結果、求人情報などを掲載するとともに、事業団職員としての自覚と誇りを喚起し職員同士の一体感を醸成するため、広報紙「ハーモニー」を四半期ごとに発行(各450部)した。

また、各施設に広報責任者及び担当者を配置し、各施設が行う様々な事業や活動などの情報を積極的に発信した。

### 2 関係機関との連携

事業団の運営をより一層発展させるため、全国社会福祉事業団協議会等との連携を推進し、秋田県で開催された全国大会等の会議に参加した。

法人単位貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	901,760,895	1,023,770,659	-122,009,764	流動負債	394,612,628	387,858,214	6,754,414
現金	534,679	632,371	-97,692	事業未払金	185,391,156	180,615,306	4,775,850
預金	543,417,295	672,444,453	-129,027,158	その他の未払金	4,910,710	2,385,786	2,524,924
事業未収金	344,118,031	320,916,376	23,201,655	1年以内返済予定設備資金借入金	38,672,000	38,672,000	0
未収金	363,229	451,065	-87,836	1年以内返済予定長期運営資金借入金	3,000,000	3,000,000	0
未収補助金	174,344	16,624,643	-16,450,299	1年以内返済予定リース債務	12,777,720	11,387,430	1,390,290
貯蔵品	306,788	400,984	-94,196	1年以内支払予定長期未払金	0	168,000	-168,000
給食用材料	8,750,122	8,375,911	374,211	預り金	682,244	107,380	574,864
立替金	573,707	572,216	1,491	職員預り金	19,033,922	35,824,659	-16,790,737
前払金	2,713,571	2,568,930	144,641	仮受金	1,896	0	1,896
前払費用	31,020	31,020	0	賞与引当金	130,142,980	115,697,653	14,445,327
1年以内費用代長期前払費用	936,450	936,450	0	固定負債	565,059,515	609,888,846	-44,829,331
徴収不能引当金	-158,341	-183,760	25,419	設備資金借入金	377,653,000	416,325,000	-38,672,000
固定資産	3,890,161,614	3,911,749,754	-21,588,140	長期運営資金借入金	28,000,000	31,000,000	-3,000,000
基本財産	3,353,287,500	3,475,402,344	-122,114,844	リース債務	21,233,210	19,061,160	2,172,050
土地	285,233,124	217,362,900	67,870,224	退職給付引当金	16,503,128	21,650,478	-5,147,350
建物(基)	3,054,754,376	3,244,739,444	-189,985,068	全事協年金共済退職給付引当金	121,670,177	121,852,208	-182,031
定期預金	13,300,000	13,300,000	0	負債の部合計	959,672,143	997,747,060	-38,074,917
その他の固定資産	536,874,114	436,347,410	100,526,704	純資産の部			
建物(固)	1,496,078	1,651,802	-155,724	基本金	89,717,162	21,434,878	68,282,284
構築物(固)	137,913,215	157,566,734	-19,653,519	基本金	89,717,162	21,434,878	68,282,284
機械及び装置	6,420,436	8,263,479	-1,843,043	国庫補助金等特別積立金	1,461,286,031	1,551,320,038	-90,034,007
車輛運搬具	3,694,834	2,903,884	790,950	国庫補助金等特別積立金	1,461,286,031	1,551,320,038	-90,034,007
器具及び備品	26,094,407	33,631,844	-7,537,437	その他の積立金	159,550,000	52,550,000	107,000,000
建設仮勘定	27,214,000	2,123,000	25,091,000	施設整備等積立金	159,550,000	52,550,000	107,000,000
有形リース資産	22,685,770	25,661,610	-2,975,840	次期繰越活動増減差額	2,121,697,173	2,312,468,437	-190,771,264
権利	1,716,409	1,832,491	-116,082	次期繰越活動増減差額	2,121,697,173	2,312,468,437	-190,771,264
無形リース資産	10,979,210	4,786,980	6,192,230	(うち当期活動増減差額)	-83,771,264	-86,936,125	3,164,861
退職給付引当資産	16,503,128	21,650,478	-5,147,350				
全事協年金共済退職給付引当資産	121,670,177	121,852,208	-182,031				
措置施設繰越特定資産	45,000,000	33,000,000	12,000,000				
施設整備等積立資産	114,550,000	19,550,000	95,000,000				
長期前払費用	936,450	1,872,900	-936,450	純資産の部合計	3,832,250,366	3,937,773,353	-105,522,987
資産の部合計	4,791,922,509	4,935,520,413	-143,597,904	負債及び純資産の部合計	4,791,922,509	4,935,520,413	-143,597,904

脚注 減価償却累計額 2,735,796,309円 徴収不能引当金 158,314円

※貸借対照表は、どれくらいのお金と借金があるのかということを示しています。資産は法人が持つお金(あるいは、お金にかえることができるもの)です。資産は、法人が発足したときの資本金やこれまでの利益(これらが資本になります)、そして外部からの借金(負債になります)でできています。ですから、必ず、資産=負債+資本(純資産)が成り立ちます。R6年度における当法人の当期正味財産の増減額は、▲105,522,987円となりました。

令和6年度決算報告

総括

事業活動計算書における収益の状況は、前年度に限り一時的に支給された物価高騰に対する支援金や処遇改善に係る交付金などを受け入れた補助金事業収益に大幅な減収があったことに加え、居宅サービス利用の利用率が低調に推移したことなどによる減収があったものの、処遇改善制度の本化による加算の増額や入所系サービスにおける利用率が上昇したことなどによる増収により、前年度とほぼ同額となった。

費用では、人件費において前年度に受けた物価高騰対策賃上げ支援金を原資とした処遇改善に係る支給額の減や、令和6年6月からの処遇改善制度の本化に併せたベースアップによる職員給料の増、当該加算の配分方法の見直しなどの入り繰りにより、前年度比一千万円余の増額、事業費は物価高騰の影響による給食材料費や介護用品の値上げによる支出が増額となる一方で、前年度に比べ、感染症の発生が減少したことや衛生消耗品等の購入が抑えられたことに加え、電気需給契約の見直しによる水道光熱費の減と相まって、前年度比で4百万円余の減額となったが、事務費では、最低賃金の大幅な引き上げや物価高騰の影響による給食業務委託費の増額の影響が大きく、前年度比で6百万円余の増額となった。

この結果、サービス活動増減差額は、前年度とほぼ同額の8千5百万円余のマイナスとなり、平成30年度から7期連続の赤字となり、厳しい経営状況が続いている。

さらに、資金収支計算書でも、法人内の積み立て資産の収支(退職給付引当資産の取崩収入の5百万円余と将来の改築に向けた施設整備等積立資産積立支出の1億7百万円)を除くと、実質的な資金収支差額は1千1百万円余のマイナスであり、もろもろの移転改築に係る特別な支出2千5百万円余があったとは言え、資金面においても厳しい状況が続いている。

法人単位事業活動計算書

自:令和6年4月1日 至:令和7年3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	1,051,964,859	1,050,567,317	1,397,542
	老人福祉事業収益	105,503,097	117,929,307	-12,426,210
	児童福祉事業収益	161,066,080	154,793,397	6,272,683
	就労支援事業収益	2,374,041	1,922,191	451,850
	障害福祉サービス等事業収益	1,007,247,393	1,004,506,383	2,741,010
	経常経費寄附金収益	1,941,174	627,058	1,314,116
	その他の収益	563,824	1,120,560	-556,736
	サービス活動収益計(1)	2,330,660,468	2,331,466,213	-805,745
	費用			
	人件費	1,631,464,919	1,620,521,659	10,943,260
	事業費	383,982,358	388,260,802	-4,278,444
	事務費	252,053,554	245,855,730	6,197,824
	就労支援事業費用	3,694,041	3,242,191	451,850
利用者負担軽減額	1,255,745	1,483,938	-228,193	
減価償却費	234,383,182	250,472,967	-16,089,785	
国庫補助金等特別積立金取崩額	-91,121,007	-91,743,475	622,468	
徴収不能引当金繰入	15,050	21,100	-6,050	
サービス活動費用計(2)	2,415,727,842	2,418,114,912	-2,387,070	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-85,067,374	-86,648,699	1,581,325	
サービス活動外増減の部	収益			
	借入金利息補助金収益	592,410	761,670	-169,260
	受取利息配当金収益	9,506	22,087	-12,581
	その他のサービス活動外収益	6,881,513	8,714,766	-1,833,253
	サービス活動外収益計(4)	7,483,429	9,498,523	-2,015,094
	費用			
支払利息	2,620,526	2,953,242	-332,716	
その他のサービス活動外費用	3,887,967	5,275,703	-1,387,736	
サービス活動外費用計(5)	6,508,493	8,228,945	-1,720,452	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	974,936	1,269,578	-294,642	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	-84,092,438	-85,379,121	1,286,683	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	1,087,000	811,277	275,723
	施設整備等寄附金収益	412,060	2,986,200	-2,574,140
	固定資産受贈額	69,853,524	217,800	69,635,724
	その他の特別収益	40,469	326,390	-285,921
	特別収益計(8)	71,393,053	4,341,667	67,051,386
	費用			
	基本金組入額	68,282,284	2,386,200	65,896,084
	固定資産売却損・処分損	1,631,191	2,701,194	-1,070,003
	国庫補助金等特別積立金積立額	1,087,000	811,277	275,723
その他の特別損失	71,404	0	71,404	
特別費用計(9)	71,071,879	5,898,671	65,173,208	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	321,174	-1,557,004	1,878,178	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-83,771,264	-86,936,125	3,164,861	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	2,312,468,437	2,386,404,562	-73,936,125
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	2,228,697,173	2,299,468,437	-70,771,264
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	18,000,000	-18,000,000
	その他の積立金積立額(16)	107,000,000	5,000,000	102,000,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	2,121,697,173	2,312,468,437	-190,771,264	

※事業活動計算書は、その年度における法人の事業活動の成果を表すものであり、当期の純資産の増加は、事業活動の成果に他なりませんので、それを「当期活動増減差額」と呼んでいます。貸借対照表の純資産の部の「当期活動増減差額」とイコールになります。法人の純資産が、どのような原因で増減したのかを明らかにした計算書です。

法人単位資金収支計算書

自:令和6年4月1日 至:令和7年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	介護保険事業収入	1,048,401,000	1,051,964,859	-3,563,859
	老人福祉事業収入	103,208,000	105,503,097	-2,295,097
	児童福祉事業収入	158,138,000	161,066,080	-2,928,080
	就労支援事業収入	3,622,000	2,374,041	1,247,959
	障害福祉サービス等事業収入	1,007,213,000	1,007,247,393	-34,393
	借入金利息補助金収入	592,000	592,410	-410
	経常経費寄附金収入	1,270,000	1,941,174	-671,174
	受取利息配当金収入	12,000	9,506	2,494
	その他の収入	6,181,000	6,881,513	-700,513
	事業活動収入計(1)	2,328,637,000	2,337,580,073	-8,943,073
	支出			
	人件費支出	1,638,323,000	1,621,603,118	16,719,882
	事業費支出	397,219,000	383,420,119	13,798,881
事務費支出	258,471,000	252,053,554	6,417,446	
就労支援事業支出	3,697,000	3,694,041	2,959	
利用者負担軽減額	1,296,000	1,255,745	40,255	
支払利息支出	2,622,000	2,620,526	1,474	
その他の支出	3,981,000	3,887,967	93,033	
事業活動支出計(2)	2,305,609,000	2,268,535,070	37,073,930	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	23,028,000	69,045,003	-46,017,003	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	1,087,000	1,087,000	0
	施設整備等寄附金収入	402,000	412,060	-10,060
	施設整備等収入計(4)	1,489,000	1,499,060	-10,060
	支出			
設備資金借入金元金償還支出	38,673,000	38,672,000	1,000	
固定資産取得支出	28,904,000	28,899,140	4,860	
ファイナンス・リース債務の返済支出	12,054,000	11,545,060	508,940	
施設整備等支出計(5)	79,631,000	79,116,200	514,800	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-78,142,000	-77,617,140	-524,860	
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	5,201,000	5,147,350	53,650
	その他の活動収入計(7)	5,201,000	5,147,350	53,650
	支出			
	長期運営資金借入金元金償還支出	3,000,000	3,000,000	0
	積立資産支出	172,500,000	107,000,000	65,500,000
	その他の活動による支出	72,000	71,404	596
	その他の活動支出計(8)	175,572,000	110,071,404	65,500,596
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-170,371,000	-104,924,054	-65,446,946
	予備費支出(10)	0	-	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-225,485,000	-113,496,191	-111,988,809	
前期末支払資金残高(12)	795,709,000	795,708,927	73	
当期末支払資金残高(11)+(12)	570,224,000	682,212,736	-111,988,736	

※支払資金の増減原因を内容別に記載した計算書が、「資金収支計算書」になります。また、支払資金の増加額を、「当期資金収支差額」と呼んでいます。支払資金は、貸借対照表の流動資産及び流動負債(引当金等を除く)の差額で、その残高は流動資産の額が流動負債(引当金等を除く)の額を超える額となります。

# 令和6年度職員提案制度 理事長表彰 授賞提案公表!

本年度は44件の提案があり、うち41件が採択され、業務改善が実施されました。その中から最優秀賞に輝いたのは、桃源荘 介護士 横張竜一さんが提案した「清潔保持を可能とする、余裕を作るためのエプロン」が見事選ばれました。



令和6年度職員提案制度 理事長表彰授賞者

## 最優秀賞授賞者インタビュー

この度は職員提案での最優秀賞をいただき誠にありがとうございます。利用者様が食べこぼしが多く、エプロン着用拒否もあったため、今回、ご本人様が愛着があるタオルを使用して、タオルエプロンを作らせていただきました。引続き利用者様にとって良いサービスを提供できるように、考えて仕事をしていきたいです。



## 授賞提案一覧

### 最優秀賞 (賞金1万円)

提案名 清潔保持を可能とする、余裕を作るためのエプロン  
提案者 桃源荘 介護士 横張竜一

### 優秀賞 (賞金5千円)

提案名 日用品・消耗品の在庫確認表の活用について  
提案者 明生学園 保育士 森優希

提案名 現金集金袋  
提案者 サテライト桃源荘 介護士 猪狩由加里

提案名 お茶ゲーゼから消臭効果のあるタオルへ  
提案者 はまなし寮 介護士 加賀美忍

提案名 オンコール時の観察・報告事項 緊急時対応基準表  
提案者 はまなし寮 チーム IMU

### 最多提案賞 (賞金5千円)

令和6年度中3件

提案名 ①利用者のお小遣い出金依頼状況の確認表  
②オムツ・パットの発注と支払いについて  
③会議室の使用状況案内及び節電対策について  
提案者 もえぎ寮 支援員 酒井一美

提案名 ①ナースコールの内線、復旧番号の一覧  
②洗身タオルの管理について  
③掃除用具の配置変更  
提案者 はまなし寮 介護士 藤巻広子

# 職員研修報告



## 新任職員研修

### きぼうの家



介護士 佐藤 正和 (さとう まさかず)

今回の研修では、他施設の職員とグループワークをする機会がありました。それぞれ仕事で抱えている悩みなどについて意見交換を行い、事業団としての現状や課題を共有することができました。今回の研修を通して、他職種との情報共有がいかに重要であるか学ぶことができたため、今後は他職種とも積極的にコミュニケーションを図り、それを利用者様のより良い支援につなげていけたらと考えています。

## 新任職員研修

### サテライト桃源荘



看護師 小林 奈津子 (こばやし なつこ)

今回の研修に参加し、自分の所属している事業団の仕組みや成り立ちなどを知ることで、それぞれの施設が地域や社会に根付き、重要な役割を担っている組織であることを認識することが出来た。また、各施設を実際に見学したことで、それぞれの場所で活躍している様々な職種のスタッフがいることや、各施設が社会に大きな貢献をしている施設であることを目の当たりにすることが出来た。マナー研修では、大人になり忘れていたことなど、改めて学び直す良い機会となった。今回の新任研修で学んだことを、日々の業務に活かしていけるような努力をしていきたい。

## 新任職員研修

### はまなし寮



介護士 森田 泰弘 (もりた やすひろ)

研修の中で特に勉強になったのがマナー研修です。理由としては改めて姿勢や言葉遣い、コミュニケーションの取り方を教わる機会はないと思っているからです。私は私生活では姿勢が悪くいつも猫背なのですが、それが相手にどんな感じで見られるか、言葉遣いだけでどれだけ印象が変わるかを改めて学ぶ事が出来ました。今回の研修は利用者とのコミュニケーションに活かせると思うので、今後の業務で意識していきたいです。

## 新任職員研修

### 豊寿荘



支援員 柳本 順 (やなぎもと じゅん)

今回の研修は新任職員研修という事で、事業団の職員としての心構えや、期待されている事を具体的に学ぶ事ができた。その中でも『信頼を得る努力』に対してどのような行動が必要か。職場での積極的な意見発信や仕事への姿勢、利用者様への関わり方など、私一人だけでなく職場全体が取り組む必要がある。利用者様へのサービスや環境の質の向上は必須であり、今回の研修に限らず、研修だけで終わるのではなく、学んだことを意見交換できる職場作りが必要と考えます。

## 新任職員研修

### 桃源荘



介護士 古屋 真佳 (ふるや まなか)

今回の新人研修で1番大切だと感じたのは、利用者本位だと思いました。利用者本位ではなく、援助側の都合になってしまうと利用者様は嫌な思いを感じてしまい、話しをあまりしなくなってしまうかもしれないと思いました。なので、利用者様が判断したことが実行できるようにいき、その人らしく生きられるように視点を変えて接していきたいなと思いました。常に利用者様が主体であるように心がけていきたいです。

Q 今の仕事をしていたら何になっていましたか？

A 幼稚園の先生になっていたと思います。

Q 好きなスポーツは何ですか？

A サッカーです。小学1年生のころからヴァンフォーレ甲府のサポーターでした。父がゲーフラを作ったり、妹がヴァンフォーレクイーンをやっていたりと、家族でサポーターをやっています。

Q マイブームは何ですか？

A アサイーボウルを食べることです。スッカリとした甘さが体に染みておいしいです。

Q ストレス解消方法はありますか？

A 食べて寝てぼーっとしながら自分好みに作り上げたイヤホンで好きなアーティストの曲を聴くことです。明透さん、理芽さん、ヨルシカさんの曲、お薦めです。

Q 一押しのお店はありますか？

A 静岡県焼津市の食事処かどやという店がイチオシです。静岡へ訪れた際には是非行ってみてください。

Q お酒は何か好きですか？

A 日本酒が好きです。友達には「渋い!」とよく言われます。

Q 今、何が欲しいですか？

A 1週間くらいの休みが欲しいです。最近旅行に行けてないのていろんなどところに行って名物料理を食べたいです。



事務局  
主事  
渡辺 英智さん  
わたなべ えい ち

Q 何か資格を持っていますか？

A 理学療法士の資格を持っています。

Q どうして事業団を選びましたか？

A 山梨に戻るにあたり、知人のそのまた知り合いの方から声をかけていただきました。

Q 最近食べておいしかったものを教えてください。

A 連休にタケノコを茹でました。大好物で、毎年この時期が楽しみです。

Q 子供のころ観たアニメは何ですか？

A 幼稚園の頃、テレビの前で「アルプスの少女ハイジ」になりきってスキップしていました。

Q 朝食はパン派? ご飯派?

A ずっとご飯派でしたが、米の高騰でパン派に傾いています。

Q マイブームは何ですか？

A 1鉢だけですが、プランターで野菜作りを始めました。今はミニトマトにチャレンジしています。

Q 休日の過ごし方は？

A 溜まった家事をひたすら片付けています。

Q 尊敬している人はいますか？

A お元気で傘寿を迎えられ、今もなお現役で活躍されている恩師です。



豊寿荘  
理学療法士  
望月 光さん  
もちつき ひかり

# 職員直撃!

## Staff Interview



桃源荘  
介護士  
塩野 明子さん  
しおの あきこ

Q 何か資格を持っていますか？

A 介護福祉士、栄養士。

Q あなたの仕事観をお聞かせください。

A 利用者様の笑顔の為に、日々頑張っています。

Q 一押しのお店はありますか？

A 福寿。

Q 海外に行くならどこに行きたいですか？

A 何ヵ国か海外には行っていますが、まだ行きたい国は沢山あるので、次はどの国に行くか考え中です。

Q 仕事のやり方や職場の中で工夫している事はどんなことですか？

A 利用者様の情報共有をしっかりと行う事。

Q おすすめの映画はありますか？

A アンダーニンジャ。

Q 小さい頃どんな子供でしたか？

A 明るく元気な子供。

Q 学生時代どんな部活動に所属していましたか？

A バレーボール。

Q 好きな食べ物はありますか？

A 焼肉、スイーツ。

Q 休日の過ごし方は？

A 趣味に時間を使います。

Q この仕事を選んだ動機を教えてください。

A 幼少期に身体が弱く、周囲の支えに助けられた経験から、「支えられることの大切さ」を実感しました。今度は自分が支える側に立ちたいという思いが芽生え、看護の道を志すようになりました。

Q この仕事の魅力を教えてください。

A 医療過疎地で、60人(通所込み)の利用者様を支えるという経験は、医療者としての総合力が試される環境です。専門的な知識だけでなく、幅広い対応が求められます。限られた社会資源の中で最善のケアを提供するためには、柔軟性と応用力が必要ですが、それが自身の成長につながるのを実感できます。

Q 仕事でのおもしろいエピソードを教えてください。

A ぼくの苗字は「おおや」ですが、外部の方から必ず「おおたにさん」と呼ばれることです。少しだけ大谷翔平気分を味わっています。大谷翔平とは真反対の性格で施設内ではよく存在が薄いと言われていたのですが(汗)

Q おすすめの健康法はありますか？

A 心身のバランスを整えるためにマインドフルネス(瞑想)。家族からは怪しまれますが、心身共に落ち着きます。また不足しがちな栄養をサプリメントで補う等をしています。サプリの話をするときはテンションが上がってしまうので、若干引かれます。

Q 休日の過ごし方は？

A 土日は子供と全力で外遊びをしています。今後はキャンプなども始めて、メリハリのある生活を心がけていきたいです。

もえぎ寮  
看護師  
大谷 勇樹さん  
おおや ゆうき



Q 最近うれしい出来事はありますか？

A 1歳、3歳の娘がどんどん成長していくことです。眼鏡のことを「ガネネ」と呼んでいたのに正しく言えるようになってしまったのは少し寂しい。

Q 将来の夢を教えてください。

A 娘二人を溺愛しているのて、嫌われない父親になるために目下勉強中です。二人のうち一人でも近くに住み続けて欲しい。老後は孫を溺愛するのが夢です。

## サテライト桃源荘 日川について

サテライト桃源荘日川では、入所29床、短期入所10床の計39床で事業を行っています。地域密着型ということで、入所の利用者様については、山梨市に住所がある方がご利用されています。4ユニットで構成されており、それぞれ『もみじ』『ゆり』『つばき』『さくら』という名称で、『もみじ』が短期入所のユニットとなっています。ユニット間の行き来が容易にできる造りになっており、利用者様も自由にユニットを行き来し、また職員においてもユニットが隣接しているためフォローしあえる環境となっています。



職員については、介護士20名、相談員2名、看護師3名、作業療法士1名の計35名で構成されており、多職種連携を取りながら、ご利用者の皆様、ゆっくりまた安心して生活することが出来るよう、日々の業務に邁進しています。

今年度は、「介護士のスキルアップを行い、サービスの質を向上させる」を目標に勉強会、研修を定期的に企画、実施していき、介護士のスキルアップにつなげ、利用者様に対する支援の質を向上させたいと考えています。



## 居宅介護支援センター紹介

居宅介護支援事業所は、要介護認定を受けた人が自宅で介護サービスなどを利用しながら生活出来るよう支援する相談窓口となる場所です。

要介護認定者に対して、自宅で自立した生活を送るために、介護支援専門員（ケアマネージャー）が、本人や家族の心身の状況や生活環境、希望などに沿って、居宅サービス計画書（ケアプラン）を作成します。

利用者様やご家族様から様々な相談を受け、その内容も多岐に渡ります。ご利用者の困り事に対して、外部機関と連携をとりながらサポートしたり、対応しきれないケースは必要な機関へつなぎ、解決出来るように提案していくのもケアマネージャーの役目のひとつになります。

現在2名体制で行っています。「すべての人が困らないように」をモットーに、行動力と対応力に専門性、質の良い支援提供を目指して日々奮闘しています。しかしケアマネージャーも全てを解決出来るわけではありません。失敗もあれば後悔もあります。離職率が高く、精神的に負担が大きい事で大変とも言われます。

悩みを1人で抱える事や背負う事がないように「相談・連携」が一番大事にしています。

何事も巡りあわせを大切に、この事業所でこの人に会えて良かったと思われる事業所であるように頑張っています。



悩みを1人で抱える事や背負う事がないように「相談・連携」が一番大事にしています。

何事も巡りあわせを大切に、この事業所でこの人に会えて良かったと思われる事業所であるように頑張っています。



## 所長あいさつ

### サテライト桃源荘 所長 渡辺 正道

サテライト桃源荘は、『和顔愛語』～笑顔と思いやりの心～を施設の基本理念として、日々利用者の皆様の生活をサポートしています。

文字通り、和やかな顔(笑顔)と思いやりの言葉(心)で人に接す

ることを意味します。

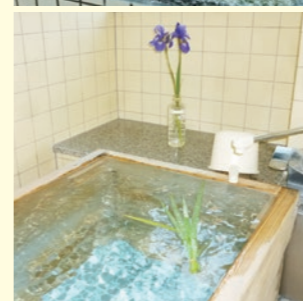
ご自宅で生活されていた時(されている時)と同じように、またそれ以上に安らぎを感じ、笑顔で楽しく、時にはわがままや愚痴なども言えるような、ごく自然の生活が送れる施設(事業所)を目指しています。また、地域密着型施設として、地域に頼られ愛され親しまれる施設であり続けたいと願っています。

## デイサービス ピーチ紹介

サテライト桃源荘ピーチは、通所介護の事業所です。サービス対象者は、山梨市・甲州市・笛吹市・その他一部地域に在住で、介護保険法にて要介護・要支援と認定された高齢者の方になります。自宅での入浴が困難な方、外出が困難で他者との交流が少ない方など、日常生活を送る上での課題を抱えた方が来られています。朝から夕方までと時間の制約がある中で、必要なサービスを提供するために各職種(介護士・看護師・理学療法士・相談員・業務員など)が連携を取って仕事に携わっています。

午前中の主なプログラムは集団体操・入浴・個別機能訓練で、午後は各レク活動(カラオケ・ゲーム・手工芸)になっています。車椅子を利用している方や短期記憶の乏しい方など、各利用者様のADLや認知レベルに応じて活動内容を調整しています。

中でも、入浴を楽しみにされている利用者様が多く、季節に合わせた変わり風呂はご好評を頂いています。また、畑作業や華道教室等を生業としていた利用者様にご教授頂きながら、畑で作物を作ったり、他の利用者様にお花の活け方を教えて頂いたり、利用者様の強みを生かした活動にも力を入れています。



## サンピーチ紹介

サテライト桃源荘サンピーチは、地域密着型の認知症対応型通所介護の事業所です。サービス対象者は、山梨市在住で、介護保険にて要介護・要支援と認定されていて、認知症の診断を受けた方になります。通常のデイサービスと比べ、定員が少なく、よりこまやかなケアが可能な点が特徴です。少人数制ならではの家庭的で温かい雰囲気の中、利用者の皆様が安心して穏やかに過ごせるよう支援をしています。また、利用者様の「生活歴」や「その人らしさ」に着目した関わりにより、「できること」を増やすことで自信に繋がり、認知症の進行を防ぐとともに「笑顔」を引き出していくことを心掛けています。

日中は、入浴や食事、体操、個別レクリエーションなどを通じて、生活の中に楽しみや達成感を見出していただけよう工夫しています。外出支援も行っており、買い物体験や季節を感じて頂けるような場所への散策など様々な場所へ出掛けています。また、毎日の



終わりには、その日の出来事や会話、活動を一緒に振り返る時間を設けています。穏やかな語りの中で、一日を丁寧に締めくくることが利用者様の安心感につながるよう心掛けています。



## 産休・育休を経て

### サテライト桃源荘 介護士 中沢 美桜

産休に入る少し前に、産休育休についての勉強会に参加させていただきました。初めての妊娠、不安でいっぱいの中、学ぶ機会を持った事に安心した事を覚えています。

私は少し早めに産休へ入らせていただきました。後半はお腹が大きくなり、大変な事も多々ありましたが、一緒に

働く仲間を支えられて無事産休に入る事ができました。

初めての出産や育児は嬉しい事や楽しい事が沢山で、私自身も短期間でグッと成長したような気がします。親になって初めてする手続きや育児に関して学ぶ事が多く、とてもいい勉強になりました。

息子が2ヶ月になった頃から職場復帰の事を踏まえて、保育園探しが始まりました。幸い息子は第一希望の保育園に入園が

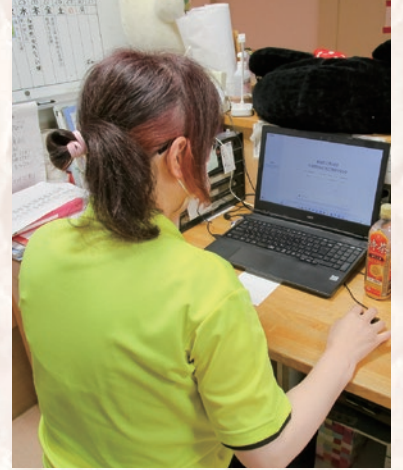
決まり、元気良く通っています。保育園の洗礼も慣らし保育の段階で終わっていたので、今は大きく体調を崩す事なく過ごしています。

職場復帰してからは仕事と育児の両立ができる様、夫と話し合い、時短勤務を選択しました。慣れない生活リズムの中、疲れが出てしまう日もありましたが、サンピーチの仲間が支えてくれ、私自身も少しずつ仕事の感覚を思い出してきました。今後、保育園からの呼び出しや息子の急な体調不良等でご迷惑を掛ける事があるかもしれませんが、職場の皆様からのサポートを受けつつ、私自身も親として、そして介護士として成長していきたいです。



「経験と宝」

豊寿荘  
主任支援員  
荻野 友美  
おぎのともみ



ペンリレーが回ってくるよと言を受けて幾星霜。色々考えたけれど、幼少期からの趣味についてお話をさせて頂こうかと思えます。

私は年の離れた姉と兄がいる関係で絵本はほとんど読まず、サンデーとなかよしで育ちました。理由は姉と兄が買っていたからです。そこから派生して、推理小説、図書館にあった児童文学やライトノベル(当時は少女小説とか呼ばれていた物)、姉が持っていた少女漫画を読み漁る小学生になり、とにかく字が書いてあれば良いと辞書を読み取説や瓶の裏の栄養成分表示を熟読する中学生になりました。国語の教科書は買ったその日に読み終え、便覧は隅から読み終えてしまっていました。その後月日は経ち、自身の子供の教科書を子供より先に読み終え、学校の図書館から本を借りてきてもらい私が読んでいました。その事が功を奏してか子供は毎年沢山本を借りたと表彰されていました。8割は私自身が読んでいました。それは子供が手を離れても変わらず、自分の時間が持てたこと

で小説から漫画にまでとにかく興味を持った物は端から読んでいたが、ここ数年変化が訪れたのです。

まず、長時間集中する事が出来なくなり長編小説が読めなくなり、小さい字も目が疲れ長く読んでいられませぬ。おかげで小説の読書量はかなり減り漫画が殆どになりました。よる年波には勝てないという事でしょう。

今はまだ読書に支障が出る位ですが、これから先そういつた変化は訪れるのでしょうか。体力も落ちて更に集中出来なくなっていくのでしょうか。

それでも私には、幼稚園から積み上げた読書歴と言う経験があります。殺人事件を解決したり、ダンスを通して大きなライオンの背に乗ったり、大きな卵で大きなカステラを焼いたりした経験があるのです。これは私の宝です。生涯大事に抱えていける宝です。この宝を胸にこれからも楽しく笑って生きて人生を全うしていきます。どうか、今これを読んでくださっている貴方にもこんな宝がありますように。

- 1 抱負
- 2 趣味・特技

新人さん紹介

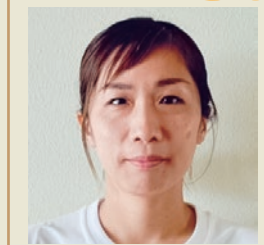


桃源荘

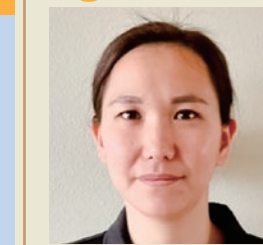
きぼうの家



さのえつこ  
介護士 佐野 江津子  
1 福祉の世界に入った時の気持ちを大切に、「初心を忘れるべからず」を心にとめて「愛のある介護、愛のある福祉」に努めていきたいと思います。  
2 アマゾンプライム、HULUを観る(映画、ドキュメンタリー等)



くぼたみちこ  
介護士 久保田 倫子  
1 笑顔で楽しく利用者様と接していきたいと思います。  
2 フェスへいくこと



しばたみゆき  
介護士 柴田 美由紀  
1 利用者様の名前を早く覚えて信頼関係を築いていきたい。  
2 趣味・寝ること  
特技・スポーツ全般

ご結婚

令和7年5月5日 桃源荘 介護士 内藤はるかさん(旧姓:塩田)



編集後記

私事ですが、この6月で50歳となりました。はまなし寮開所から勤め始めて30年が経過しようとしています。自分はまだ若い!と思いつけてきましたが、この年齢は思いもよらない変調が多く、心身共にしんどくなる事が多くなってきました。私はミニバスの指導者をしてますが、子供たちにしつこく伝えるのは「目標を持つ」ということです。人に言うばかりでなく自分自身も50歳という節目を迎え、再度自分自身の「目標」を設定してみようと思う今日この頃です。もえぎ寮は来年度「新施設への引越」という大事業を控えています。新施設での利用者様の食生活がより充実した環境になるよう気合を入れて準備していこうと思えます。皆さまも目標や夢にむかって頑張っていきましょう。

もえぎ寮 栄養士 中村 美菜



資格取得

社会福祉士

桃源荘 次長 青柳 君隆

介護支援専門員

桃源荘 総括相談員 羽中田 亜南  
きぼうの家 主任支援員 齊藤 しほ

介護福祉士

桃源荘 介護士 田代 敏男  
サテライト桃源荘 介護士 鈴木 絢香  
きぼうの家 介護士 山口 祥平  
きぼうの家 介護士 橘田 龍空

退任理事等

理事 植村 武彦  
理事 武井 泰仁  
監事 古屋 俊仁  
評議員 大澤 利嗣  
評議員 佐藤 千代美

新任理事等

理事 若月 衛  
理事 旭 喜彦  
監事 古屋 俊一郎  
評議員 小田切 信夫  
評議員 藤本 兼三

役員交代(敬称省略)

令和7年6月13日付発令